

## NISSHA グループのステークホルダー

NISSHA グループを支えるステークホルダーを、Customer（お客さま）、Shareholder（株主）、Employee（社員）、Supplier（サプライヤー）、Society（地域社会）と定めています。Missionの実現に向けて、ステークホルダーのみなさまの声を傾聴しながら、持続可能な社会の実現に資する事業活動の推進を目指しています。ともに明確なビジョンを持ち、その実現に向けて互いに影響し合い、ともに価値ある未来を創造していきたいと考えています。

### ステークホルダーとの信頼の輪 (Circle of Trust)



#### お客さま / Customer

当社グループは、主力のコンシューマー・エレクトロニクス（IT）に加え、モビリティ（自動車）、医療機器、サステナブルパッケージ資材を重点市場と定めています。それぞれの分野におけるお客さまは、グローバルに広がっています。

私たちは、高い競争力を有した特徴ある製品・サービスの創出により、お客さま価値を実現し、「人々の豊かな生活」の実現に寄与することを目指しています。また、お客さまから安心して仕事を任せていただくため、環境に配慮した生産体制や公正な事業慣行の実践など、環境・社会面の取り組みを推進しています。



#### ◆コミュニケーションの事例

日常業務における営業活動

Web による製品・サービス情報の提供

お客さま満足向上活動

サステナビリティ関連調査への情報提供

紛争鉱物に関する情報提供

お客さまによる SR (supplier responsibility) 監査への対応

## 株主/Shareholder

当社の発行済み株式総数は 50,855,638 株、株主総数は 11,194 名です。所有者別保有株式数比率は、金融機関・証券会社が 36.0%、外国法人等が 23.0%、その他国内法人が 20.1%、個人その他が 19.9%、自己名義が 1.0%となっています（いずれも 2019 年 12 月末現在）。

私たちは、会社情報の積極的な開示のほか、IR イベントや面談などを通して、株主・投資家のみなさまと直接お会いし、対話する機会を設けています。みなさまからのご評価・ご意見は、経営層に直接報告されることに加え、取締役会などの会議において定期的に共有されています。



### ◆コミュニケーションの事例

株主総会

株主総会後の経営説明会開催

機関投資家向け決算説明会および決算説明テレフォン・カンファレンスの開催

機関投資家との個別面談

個別お問い合わせへの対応

Web サイトにおける IR 情報の発信

株主・投資家向け情報誌の発行（統合報告書、株主向け事業報告書など）

ESG 投資などに関する調査機関への情報提供

## 社員/Employee

当社グループの正社員数は 5,718 人です。地域別の構成比は、日本国内 40.2%、アジア 12.6%、北米 27.6%、ヨーロッパ 9.1%、中南米 10.5%となっています（いずれも 2019 年 12 月末現在）。

私たちはグローバルな視点で、社員の人権・多様性を尊重します。また、安全で快適な職場環境づくりを推進するとともに、多様な働き方を支援します。人材を最も重要な経営資源と位置づけ、社員と会社がともに成長できる企業となることを目指します。



### ◆コミュニケーションの事例

労使協議会

安全衛生委員会

職場改善委員会

教育・研修

人事評価・面談

ホットライン（社外通報相談窓口）

社内イントラネットや社内報などを通じた情報発信

社員意識調査・ヒアリング

## サプライヤー/Supplier

当社グループは、グローバルに事業を展開しており、数多くのサプライヤーのみなさまから調達活動を行っています。

私たちはサプライヤーのみなさまと共存共栄のパートナーシップを構築し、相互に誠実な調達を通して、企業価値の向上を目指します。また、常に公平・公正、そして総合的な評価を行うとともに、サステナブルな調達に努めます。

◆コミュニケーションの事例

日常業務における調達活動

CSR 調達説明会

ESG チェックリスト

サステナビリティ調査・監査

サプライヤーさまの商品・技術の社内展示会、セミナー開催



## 地域社会/Society

当社グループは、国内 15 カ所、海外 40 カ所に拠点を置いています(2020 年 3 月末現在)。そして、それぞれの地域の文化や風土を尊重しながら事業活動を展開しています。

企業としての基本的な責任を果たし社会に役立つ存在となるよう、地域社会とのコミュニケーション活動を推進します。さらにグローバルな社会課題にも向き合い、その解決に向けて取り組みます。

◆コミュニケーションの事例

芸術・文化の支援・協賛

自治会・地域住民のみなさまとの交流

工場・施設見学

工場周辺の清掃活動

将来世代支援活動

NPO との協働による社会貢献活動

社員によるボランティア活動



## マネジメントシステムの導入

NISSHA グループは、お客さまをはじめとするステークホルダーのみなさまの要請にお応えするため、さまざまなマネジメントシステムを導入し PDCA を回しています。

マネジメントシステムの認証取得状況は下表の通りです（NISSHA グループ、2019 年 12 月末現在）。

対象エリア	規格							
	ISO9001	ISO13485	IATF16949	ISO14001	ISO50001	OHSAS18001 ISO45001	ISO27001	その他
NISSHA株式会社 京都本社	○*1	○*2	○*3	○*4			○	
NISSHA株式会社 東京支社	○*1						○	
NISSHA株式会社 亀岡サイト	○		○*3				○	
ナイテック工業株式会社 甲賀工場	○			○			○	
ナイテック工業株式会社 亀岡工場	*5						*6	
ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジー株式会社 姫路工場	○			○			○	
ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジー株式会社 加賀工場	-			○			○	
ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジー株式会社 京都工場	○		○	○			○	
NISSHAエフアイエス株式会社	○			○			○	
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 京都本社	○*1						○	
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 大阪支社	○*1						○	
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 亀岡工場	○*1						*6	
ソルネボード製薬株式会社	-							
NISSHAエフエイト株式会社	○*7						○	
NISSHAビジネスサービス株式会社	○*7			○			○	
Eimo Technologies, Inc.			○					
Nissha GSI Technologies, Inc.	○	○						
Nissha PMX Technologies, S.A. de C.V.			*8					
Graphic Controls Acquisition Corp.		○						EC93/42/EEC
Lead-Lok, Inc.		○						
CEA Global Dominicana, S.R.L.		○						
CEA Medical Manufacturing, Inc.		○						
Sequel Special Products, LLC		○						
Nissha Medical Technologies Ltd.	○	○						
Nissha Medical Technologies GmbH & Co. KG		○						EC93/42/EEC
Nissha Medical Technologies SAS	○	○		○				
Nissha Schuster Kunststofftechnik	○		○					
Nissha Back Stickers	○							
AR Metallizing N.V. - Genk, Belgium	○							FSC COC
AR Metallizing Srl. - Casalgrasso, Italy	○				○	○		FSC COC
AR Metallizing Ltd. - Franklin, MA USA	○							FSC COC
AR Metallizing Produtos Metalizados Ltda	○			○		○		FSC COC
Eurofoil Paper Coating GmbH	○			○	○	○		EN15593
日写（昆山）精密模具有限公司	○		○	○				
広州日写精密塑料有限公司	○		○	○				
Nissha Precision Technologies Malaysia Sdn. Bhd.	○		○	○				

- \*1. 管理部門は認証取得範囲に含みません。
- \*2. メディカルテクノロジー事業（Vermed 製品）に関連する部門のみが対象です。
- \*3. 車載タッチセンサーモジュールに関連するサポート部門のみが対象です。
- \*4. 管理部門、設計開発部門のみ認証取得しています。
- \*5. NISSHA 亀岡工場からナイテック工業株式会社亀岡工場への変更申請中。
- \*6. 認証は NISSHA 株式会社亀岡サイトに含まれます。
- \*7. 京都サイトのみ認証取得しています。
- \*8. ISO/TS16949 から IATF16949 へ、認証の切り替え手続き中。

## ステークホルダーへの経済価値の分配

2019年度のステークホルダーへの経済価値の分配を下表にまとめました。

当社は2019年12月期よりIFRS（国際会計基準）を適用しており、IFRSに基づいた金額を記載しています。

ステークホルダー	金額（百万円）	内容	備考
社員	32,811	給与、賞与、退職給付に係る法定福利費および福利厚生費など	第101期有価証券報告書 119ページ 注記28に記載
地域社会	52	寄付金および現物寄付・施設開放・社員の役務提供などを金額換算（経団連算定方式）	社内集計
債権者（金融機関）	1,173	支払利息	第101期有価証券報告書 122ページ 注記30に記載
行政機関（国、自治体）	1,044	法人所得税費用のうち、当期税金費用および過年度税金費用	第101期有価証券報告書 106ページに記載
株主	1,499	配当金の支払額	第101期有価証券報告書 68ページに記載

### 関連情報

[第101期有価証券報告書](#)